

令和 7 年度

運営に関する計画

令和 7 年 4 月

大阪市立大桐小学校

大阪市立大桐小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 大桐小学校・大道南小学校・大桐中学校は、「人にやさしい学校」を共通の目標として、長年の間連携して取り組んでいる。友だちを大切にするやさしい心が育ちつつある。一方で、令和3年度の児童アンケートや同年度学力経年調査の児童質問紙の結果から、「自分には、良いところがあると思いますか。」に対する設問に対して、肯定的な回答をする児童の割合は低く、本校の大きな課題となっていた。令和4年度より自己肯定感を高める活動を、学年や学級等で力を入れて取り組んできたことで、同調査における自己肯定感に関する結果は毎年向上している。令和6年度は80%を超えることができた。自己肯定感を育むことは、児童が様々な学習や活動に積極的に取り組んだり、前向きに生きる力を醸成したりしていくうえで、大切な要素と考える。今後も、あらゆる教育活動の中で成功体験を積む場を設けたり、児童一人ひとりが、他者との違いを良さと捉えられるような活動を工夫したりしていく必要がある。
- 地域の方々による子どもの見守り活動は盛んで、また保護者による安全当番の活動もある。それでも、遅刻児童や不登校児童がなくなるのが現状である。担任や担当が、個別に家庭訪問をしたり、区役所子育て支援室等と連携したりすることで遅刻児童や不登校児童の改善の割合は、増加している。しかし、不登校の児童の数はまだ多い。引き続き該当児童の保護者や関係諸機関との連携を密にするとともに、ICT機器を効果的に活用するなどして、引き続き対応策を講じ改善につなげる。また、魅力ある学校行事や学年や学級のイベントを積極的に設定するなどして、登校のきっかけとなる場を工夫する。
- 学力向上は、本校の大きな課題となっていたが、令和6年度学力経年調査の学力に関する結果は、全教科において市平均を上回る学年があるなど成果も見られている。しかし、2学年においては、市平均を下回り、その内1学年は各教科2から4ポイント程度、市平均より下回る結果であった。また、令和6年度の小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習などを)していますか」と「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、3学年ほとんどが前年度より低い結果となり課題が残った。
- 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(第5学年)の結果については、多くの種目で市平均を、そのうちいくつかは全国平均を上回った。普段の体育の授業の運動量の確保や駆け足タイムを実施したことや、休み時間の「みんな遊び」などで外遊びの機会を増やすなどした成果であると捉えている。運動に関する児童の興味・関心がさらに高まるような工夫を積み重ねていきたい。
- 「1人1台端末で理解を深められた」「1人1台端末での学習にすすんで取り組んだ」という質問に対する回答が令和5年度と同じまたは微増である。端末を扱う学習が児童にとって当たり前のこととして定着したことが伺える。今後は、デジタルドリルの問題を解く、インターネットで調べるといったことだけではなく、端末を使ってどのような学習活動ができるか教材研究を深め、児童の知的好奇心や探求心を刺激できるようにしたい。働き方改革については、令和6年度に余剰時数を大幅に超えて実施している授業時間を見直し、カリキュラムを再構築して取り組んだ。また、地道な業務効率化と会議の精選を実施することができた。教職員の時間外勤務も順調に改善している。今後も継続して進めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和４年度～令和７年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を毎年９０％以上にする。
【R4 81.8%】【R5:79.1%】【R6:75.0%】▲
- 令和４年度～令和７年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より毎年減少させる。
【R4:2.9%(21人/727人) R5:3.5%(23人/660人) R6:3.5%(22人/631人)】
- 令和４年度～令和７年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。【R4:31.3%】【R5:53.3%】【R6:55.6%】○
- 令和４年度～令和７年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を８５％以上にする。
【R4:80.5%】【R5:83.0%】【R6:84.4%】○

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和７年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を４０％以上にする。
【R4:33.7% R5:32.1% R6:35.6%】○
- 令和４年度～令和７年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント向上させる。
＜国語:R3= 現６年 ９７.２％＞
＜国語:R4= 現５年 ９６.４％ 現６年 １０３.６％＞
＜国語:R5=現４年現 ９５.９％ 現５年 １０３.４％ 現６年 １００.１％＞
＜国語:R6=現４年現 ９７.６％↑ 現５年 １０３.２％↓ 現６年 １００.４％↑＞

＜算数:R3= 現６年 ９８.８％＞
＜算数:R4= 現５年 ９６.３％ 現６年 １０５.６％＞
＜算数:R5=現４年現 ９６.３％ 現５年 １０２.７％ 現６年 ９９.６％＞
＜算数:R6=現４年現 ９５.６％↓ 現５年 １０１.９％↓ 現６年 １０２.０％↑＞
- 令和７年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというとき好き」と回答する児童の割合を８０％以上にする。
【R4:75.8%】【R5:78.4%】【R6:84.9%】○
- 令和７年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというとき好き」と回答する児童の割合を８０％以上にする。
【R4:70.7%】【R5:76.2%】【R6:69.8%】▲
- 令和７年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R4:68.9% R5:70.4% R6:68.1%】▲
- 令和７年度の全国学力学習状況調査における平均正答率を、全国平均以上にする。
【R4:89.3%】【R5:94.1%】【R6:100.4%】○

【学びを支える教育環境の充実】

<教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進>

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。

【学習者用端末 日別活用率の平均 R5:69.6% R6:77.3%】○

- 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習で、理解を深めることができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

【R4=90.9%】【R5:84.8%】【R6:84.8%】○

- 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習に、すすんで取り組むことができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

【R4=86.7%】【R5:80.7%】【R6:81.8%】○

<人材の確保・育成としなやかな組織づくり>

- ゆとりの日を週に1回設定実施する。○

- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を70%以上にする。

【R4:56.8%】【R5:69.1%】【R6:86.1%】○

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。

【R4 81.8%】【R5:79.1%】【R6:75.0%】▲

- 令和7年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より毎年減少させる。

【R4:2.9%(21人/727人) R5:3.5%(23人/660人) R6:3.5%(22人/631人)】

- 令和7年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。

【R4:31.3%】【R5:53.3%】【R6:55.6%】○

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。

【R3:78.1%】【R4:80.5%】【R5:83.0%】【R6:84.4%】○

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「学校へ行くのは楽しいですか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。

【R4:88.0%】【R5:88.6%】【R6:88.4%】▲

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「すすんであいさつをしていますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。

【R3:84.0%】【R4:84.0%】【R5:84.6%】【R6:86.9%】○

- 令和7年度の年度末の校内調査において、遅刻の割合を前年度より少なくする。

【R4:2.8%】【R5:(1月末時点)2.0%】【R6:(1月末時点)2.2%】▲

- 令和7年度末の本校児童アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんを食べることができていますか」の肯定的な回答の割合を前年度以上にする。

【R4:79.5%】【R5:79.9%】【R6:76.8%】▲

- 令和7年度末の本校アンケートで「スマホやゲームについて、家でのルールを守れていますか」の肯定的な回答の割合を、保護者・児童ともに前年度以上にする。

【R4:保護者 65%児童 87%】【R5:保護者 68.3%児童 79.9%】【R6:保護者 63.7%↓児童 86.7%↑】

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「友だちの気持ちを考え、良いところを見つけることができましたか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。
【R3:81.2%】【R4:91.3%】【R5:91.6%】【R6:90.8%】▲
- 令和7年度末の本校保護者アンケートで、「学校は子どもが助け合って活動できるよう指導している」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。
【R3:88.4%】【R4:87.1%】【R5:85.6%】【R6:83.1%】▲
- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「自分には良いところがあると思いますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R3:61.0%】【R4:75.7%】【R5:77.8%】【R6:80.3%】○

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。【R3:36.6%】【R4:33.7%】【R5:32.1%】【R6:35.6%】○
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

<国語:R3=		現6年	97.2%>
<国語:R4=	現5年	96.4%	現6年103.6%>
<国語:R5=現4年現	95.9%	現5年103.4%	現6年100.1%>
<国語:R6=現4年現	97.6%↑	現5年103.2%↓	現6年100.4%↑>
<算数:R3=		現6年	98.8%>
<算数:R4=	現5年	96.3%	現6年105.6%>
<算数:R5=現4年現	96.3%	現5年102.7%	現6年99.6%>
<算数:R6=現4年現	95.6%↓	現5年101.9%↓	現6年102.0%↑>
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというと好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。
【R4:75.8%】【R5:78.4%】【R6:84.9%】○
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというと好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
【R4:70.7%】【R5:76.2%】【R6:69.8%】▲
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
【R4:68.9% R5:70.4% R6:68.1%】▲
- 令和7年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を、前年度以上にする。
【R3:97.0% R4:89.3%】【R5:94.1%】【R6:100.4%】○
- 令和7年度の学力経年調査・国語において、「書く能力」領域の正答率を同一母集団で比較し、いずれの学年も昨年度以上か大阪市平均を上回るようにする。

<R3=		現6年	38.5%>
<R4=	現5年	33.3%	現6年65.1%>
<R5=現4年	41.4% (市57.7%)	現5年	76.2% (市49.5%)
		現6年	72.8% (市68.4%)>
<R6=現4年	59.7% (市66.4%)↑	現5年	77.6% (市68.0%)↑
		現6年	70.4% (市63.4%)↓>
- 令和7年度の学力経年調査・算数において、「数と計算」領域の正答率を大阪市平均と比較し、前年度以上か大阪市平均を上回るようにする。

<大阪市平均との差:R3=		現6年	-1.2>
<大阪市平均との差:R4=	現5年	-9.5	現6年12.0>
<大阪市平均との差:R5=現4年	7.2	現5年	7.2
		現6年	0.5>
<大阪市平均との差:R6=現4年	-7.7↓	現5年	6.5↓
		現6年	4.7↑>
- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「授業はわかりやすく楽しいですか」の肯定的な回答の割合を前年度より向上させる。
【R2:84.9%】【R3:84.0%】【R4:89.5%】【R5:87.3%】【R6:89.3%】○

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習などを）していますか」と「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

宿題以外に学習<R3=		現6年43.9%>
<R4=	現5年39.9%	現6年33.6%>
<R5=現4年34.6%	現5年31.5%	現6年26.5%>
<R6=現4年32.6%↓	現5年30.1%↓	現6年41.8%↑>
読書<R3=		現6年72.4%>
<R4=	現5年67.0%	現6年75.2%>
<R5=現4年76.6%	現5年66.1%	現6年61.1%>
<R6=現4年69.8%↓	現5年67.0%↑	現6年60.9%↓>

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「楽しんで運動したり、外で元気に遊んだりしていますか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。

【R4:87.2%】【R5:87.3%】【R6:80.3%】▲

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食前や休み時間、そうじの後の手洗いをすすんでしていますか」の最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を、前年度以上にする。

【R3:71.3%】【R4:68.5%】【R5:62.0%】【R6:66.5%】○

- 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食は自分の食べられる量を楽しく食べていますか」の肯定的な回答の割合を、85%以上にする。

（【R3:85.6% R4:87% R5:84.8%】←「好ききらいをしないで給食を食べていますか」【R6:92.2%】）○

【学びを支える教育環境の充実】

<教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進>

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業時数の70%以上にする。

【学習者用端末 日別活用率の平均 R5:69.6% R6:77.3%】○

- 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習で、理解を深めることができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。

【R4:90.9%】【R5:84.8%】【R6:84.8%】○

- 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習に、すすんで取り組むことができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。

【R4:86.7%】【R5:80.7%】【R6:81.8%】○

<人材の確保・育成としなやかな組織づくり>

- ゆとりの日を週に1回設定実施する。○

- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を前年度以上にする。

【R3:55.8%、R4:56.8%】【R5:69.1%】【R6:86.1%】○

3 本年度の自己評価結果の総括(最終)

※年度末に記入

大阪市立大桐小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R4 81.8%】 【R5:79.1%】 【R6:75.0%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より毎年減少させる。【R3:2.9%(22人/766人)】 【R4:2.9%(21人/727人)】</p> <p>【R5:3.5%(23人/660人)】 【R6:3.5%(22人/631人)】</p> <p>○ 令和7年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。</p> <p>【R3:10.0%】 【R4:31.3%】 【R5:53.3%】 【R6:55.6%】 ○</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R3:78.1%】 【R4:80.5%】 【R5:83.0%】 【R6:84.4%】 ○</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「学校へ行くのは楽しいですか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。【R4:88.0%】 【R5:88.6%】 【R6:88.4%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「すすんであいさつをしていますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。</p> <p>【R2:80.3%】 【R3:84.0%】 【R4:84.0%】 【R5:84.6%】 【R6:86.9%】 ○</p> <p>○ 令和7年度の年度末の校内調査において、遅刻の割合を前年度より少なくする。</p> <p>【R4:2.8%】 【R5:(1月末時点)2.0%】 【R6:(1月末時点)2.2%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんを食べることができていますか」の肯定的な回答の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R4:79.5%】 【R5:79.9%】 【R6:76.8%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校アンケートで「スマホやゲームについて、家でのルールを守れていますか」の肯定的な回答の割合を、保護者・児童ともに前年度以上にする。</p> <p>【R4:保護者 65%児童 87%】 【R5:保護者 68.3%児童 79.9%】 【R6:保護者 63.7%↓児童 86.7%↑】</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「友だちの気持ちを考え、よいところを見つけることができましたか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。</p> <p>【R2:81.2%】 【R3:81.2%】 【R4:91.3%】 【R5:91.6%】 【R6:90.8%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校保護者アンケートで、「学校は子どもが助け合って活動できるよう指導している」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。</p> <p>【R2:93.4%】 【R3:88.4%】 【R4:87.1%】 【R5:85.6%】 【R6:83.1%】 ▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答の割合を、前年度以上にする。</p> <p>【R2:69.8%】 【R3:61.0%】 【R4:75.7%】 【R5:77.8%】 【R6:80.3%】 ○</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 全ての児童にとって学校が楽しいと思えるような、特別活動の充実を図る。</p> <p>指標 全学級で「みんな遊び」などを取り入れ、学級活動を充実させる。学期に1回以上は、児童が楽しめる学年行事や学校行事を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 学校・家庭・地域において、あいさつができる児童の育成を図る。</p> <p>指標 学期に1回「あいさつ運動の週」を設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 児童が、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣を確立し、遅刻や欠席を少なくして登校できるよう指導を充実する。スマホやゲームの適切な利用の仕方について児童が考える場を工夫する。また、学校だより、学年だより等を通して保護者へ協力を呼びかける。</p> <p>指標 理由がない場合や気になる理由の欠席・遅刻は朝すぐに電話連絡する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 特別の教科道徳を中心にして、児童が「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」とする心情をはぐくむことができるように、指導実践の充実を図る。</p> <p>指標 学期に1回は、いじめについて考える学習を行う。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 学校教育全般を通して、児童のよさを引き出す機会を増やす。体験的学習を効果的に取り入れ、振り返りの活動をする。また、自尊感情を高める実践を学活の時間などを活用し進める。</p> <p>指標 学期に1回は体験的な活動を取り入れ、キャリアパスポートなどを活用して振り返りを行う。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 友だちのよいところを見つける活動を通して、相互に理解し合える友だち関係を構築させる。</p> <p>指標 全学年で友だちの良いところを見つけられるように取り組む。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>【取組内容】について</p>	
次年度への改善点	
<p>【年度目標】について</p> <p>【取組内容】について</p>	

大阪市立大桐小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R3:36.6%】【R4:33.7%】【R5:32.1%】【R6:35.6%】○</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p><国語:R3= 現6年 97.2%> <国語:R4= 現5年 96.4% 現6年 103.6%> <国語:R5=現4年現95.9% 現5年 103.4% 現6年 100.1%> <国語:R6=現4年現97.6%↑ 現5年 103.2%↓ 現6年 100.4%↑> <算数:R3= 現6年 98.8%> <算数:R4= 現5年 96.3% 現6年 105.6%> <算数:R5=現4年現96.3% 現5年 102.7% 現6年 99.6%> <算数:R6=現4年現95.6%↓ 現5年 101.9%↓ 現6年 102.0%↑></p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというとき好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>【R4:75.8%】【R5:78.4%】【R6:84.9%】○</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的な「好き」「どちらかというとき好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R4:70.7%】【R5:76.2%】【R6:69.8%】▲</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R4:68.9%】【R5:70.4%】【R6:68.1%】▲</p> <p>○ 令和7年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を、前年度以上にする。</p> <p>【R3:97.0%】【R4:89.3%】【R5:94.1%】【R6:100.4%】○</p> <p>○ 令和7年度の学力経年調査・国語において、「書く能力」領域の正答率を同一母集団で比較し、いずれの学年も昨年度以上か大阪市平均を上回るようにする。</p> <p><R3= 現6年 38.5%> <R4= 現5年 33.3% 現6年 65.1%> <R5=現4年 41.4%(市57.7%) 現5年 76.2%(市49.5%) 現6年 72.8%(市68.4%)> <R6=現4年 59.7%(市66.4%)↑ 現5年 77.6%(市68.0%)↑ 現6年 70.4%(市63.4%)↓></p> <p>○ 令和7年度の学力経年調査・算数において、「数と計算」領域の正答率を大阪市平均と比較し、前年度以上か大阪市平均を上回るようにする。</p> <p><大阪市平均との差:R3= 現6年 -1.2> <大阪市平均との差:R4= 現5年-9.5 現6年 12.0> <大阪市平均との差:R5=現4年 7.2 現5年 7.2 現6年 0.5> <大阪市平均との差:R6=現4年-7.7↓ 現5年 6.5↓ 現6年 4.7↑></p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「授業はわかりやすく楽しいですか」の肯定的な回答の割合を前年度より向上させる。</p> <p>【R2:84.9%】【R3:84.0%】【R4:89.5%】【R5:87.3%】【R6:89.3%】○</p>	

<p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習などを）していますか」と「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>宿題以外に学習<R3= 現6年43.9%> <R4= 現5年39.9% 現6年33.6%> <R5=現4年34.6% 現5年31.5% 現6年26.5%> <R6=現4年32.6%↓ 現5年30.1%↓ 現6年41.8%↑></p> <p>読書<R3= 現6年72.4%> <R4= 現5年67.0% 現6年75.2%> <R5=現4年76.6% 現5年66.1% 現6年61.1%> <R6=現4年69.8%↓ 現5年67.0%↑ 現6年60.9%↓></p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「楽しんで運動したり、外で元気に遊んだりしていますか」の肯定的な回答の割合を、全学年で前年度以上にする。 【R4:87.2%】【R5:87.3%】【R6:80.3%】▲</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食前や休み時間、そうじの後の手洗いをすすんでしていますか」の最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を、前年度以上にする。 【R2:69.3%】【R3:71.3%】【R4:68.5%】【R5:62.0%】【R6:66.5%】○</p> <p>○ 令和7年度末の本校児童アンケートで、「給食は自分の食べられる量を楽しく食べていますか」の肯定的な回答の割合を、85%以上にする。 (【R3:85.6% R4:87% R5:84.8%】←「すきらいをしないで給食を食べていますか」)【R6:92.2%】○</p>	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 主体的・対話的・深い学びとなる活動を授業の中で、積極的に取り入れるとともに、学習指導の方法を工夫することで、児童の学力の向上を目指す。</p> <p>指標 主体的・対話的・深い学びとなる活動を、各学習の各単元で取り入れる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 高学年において教科担任制を導入することにより、より質の高い授業づくりに努め、児童の学習意欲を高めたり、多くの目で児童一人ひとりの良さや課題を把握したりしながら指導や支援が進められるようにする。</p> <p>指標 高学年において週2コマ以上、教科担任制を導入し効果的に指導や支援を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 自主学習習慣の確立を目指す。</p> <p>指標 高学年児童において週に1回以上は、自主学習ノートに取り組む。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 朝の学習タイムを設定し、基礎学力の向上を図る。読書週間を取り入れるなどして児童が読書に親しめるようにする。</p> <p>指標 国語・算数の課題、読書を朝の学習タイムで、週3回実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体育の授業を工夫したり、学級活動や休み時間などで、児童が楽しめる体を動かす活動を積極的に取り入れたりとすることで、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツに親しめるようにする。</p> <p>指標 体育の授業を含め、週に5回は、児童が体を動かすことを楽しめる活動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】 健康強調週間を設けて、こまめな手洗いの習慣を身につけて、身の回りを清潔に保てるようにする。</p> <p>指標 健康強調週間を年3回実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】 学級指導を中心に栄養指導、食育指導に取り組む。</p> <p>指標 毎月1回「食育の日」を設け、児童の意識化を図る。学校評価アンケートを実施し、児童・保護者の意識を把握する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立大桐小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p><教育D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進></p> <p>○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数の75%以上にする。【学習者用端末 日別活用率の平均 R5:69.6% R6:77.3%】○</p> <p>○ 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習で、理解を深めることができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。 【R4:90.9%】【R5:84.8%】【R6:84.8%】○</p> <p>○ 令和7年度の本校児童アンケート「クロームブックを使う学習に、すすんで取り組むことができましたか。」の項目に対して、肯定的な回答の割合を前年度以上にする。 【R4:86.7%】【R5:80.7%】【R6:81.8%】○</p> <p><人材の確保・育成としなやかな組織づくり></p> <p>○ ゆとりの日を週に1回設定実施する。○</p> <p>○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を前年度以上にする。 R3:55.8%】【R4:56.8%】【R5:69.1%】【R6:86.1%】○</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 毎日、「心の天気」を朝の会の時間に入力させることで、児童の細やかな変化に気づき指導に活かす。	
指標 毎日、「心の天気」を朝の会の時間に入力させる。	
取組内容②【基本的な方向6 教育D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 朝の学習や授業の中で、学習者用端末などのICT機器を効果的に活用して指導を行う。	
指標 ICT機器活用年間計画の内容に沿って、朝の学習や授業の中で学習者用端末などのICT機器を1日1回以上活用する。	
取組内容③【基本的な方向6 教育D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 家庭学習において、学習者用端末を効果的に取り入れる。	
指標 家庭学習において、学習者用端末を活用した学習を週1回実施する。	
取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員全体で、業務や取組にかかわる作業等の効率化を図る。	
指標 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。	
取組内容⑤【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員全体で、業務や取組にかかわる作業等の効率化を図る。	
指標 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を前年度以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	